

天津医科大学との実証実験について

◆実証目的

HbA1c や空腹時血糖値の検査では糖尿病診断には至らない者(糖代謝異常者)を対象に効果検証。

- ① 持続血糖計の装着による食後高血糖症状のある者を早期発見
- ② CAReNA を利用しての遠隔食事療法の早期介入による食後高血糖症状の改善
- ③ CAReNA における遠隔指導システムの有効性

◆実証期間

2019年5月末～2019年10月

◆実証協力機関

協力機関：天津医科大学

実証先機関：北大医療海洋石油医院

◆実証被験者数

160名(糖代謝異常者として選定基準を満たしたもの)

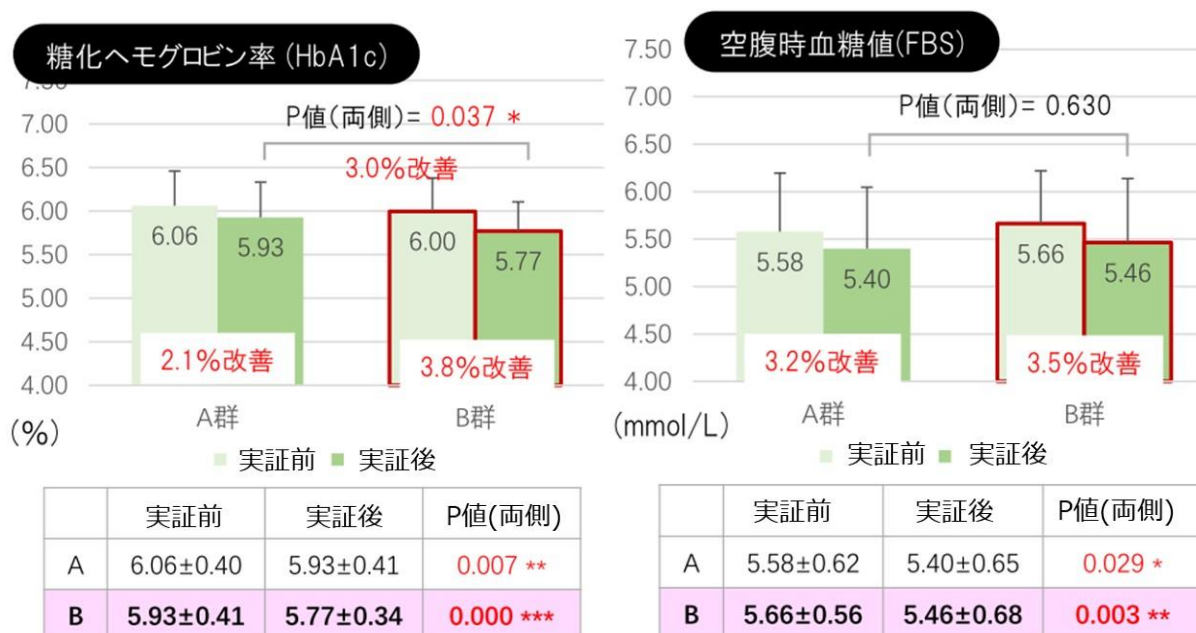
◆実証概要

被験者160名を年齢、性別、食後高血糖及び行動変容スコアに従い、CAReNAによる遠隔食事療法を実施する介入群(B群)80名と実施しない対照群(A群)80名とに分け、実証前と実証後における主要評価項目の値の変化について、評価を実施。

◆主要評価項目

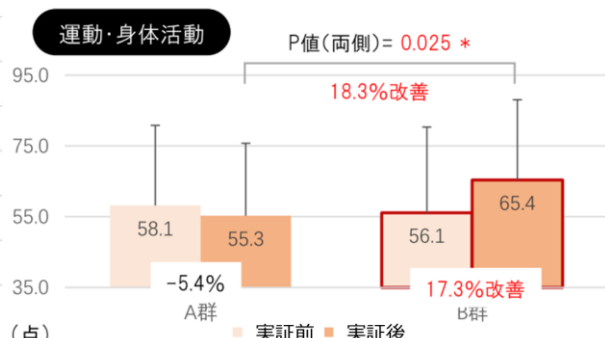
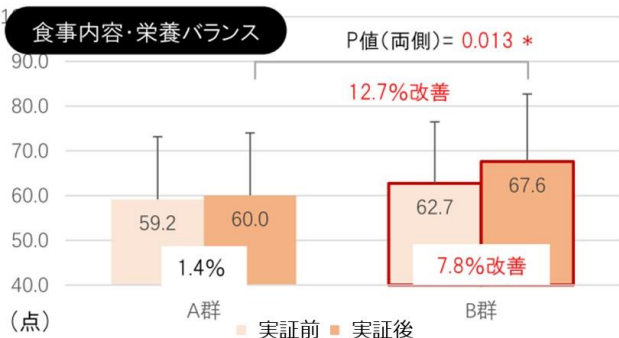
- ① HbA1c と 食後高血糖の実験前後の変化
- ② 食後血糖変動要因の意識・行動変化
- ③ BMI、空腹時血糖、その他血液検査値、体組成(骨格筋量、体脂肪量等)の変化

◆実証結果(抜粋)



HbA1c : B 群において実証前後 (P<0.001 以下) 及び AB 群の実証前後 (P=0.037) の改善効果が得られました。

FBS : B 群において実証前後 (P<0.003) の改善効果が得られました。

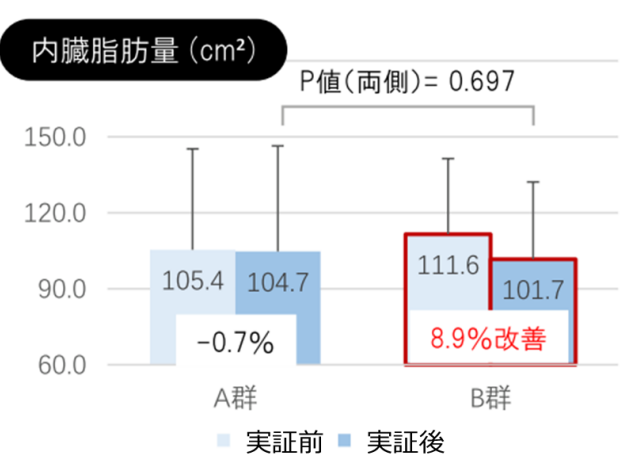
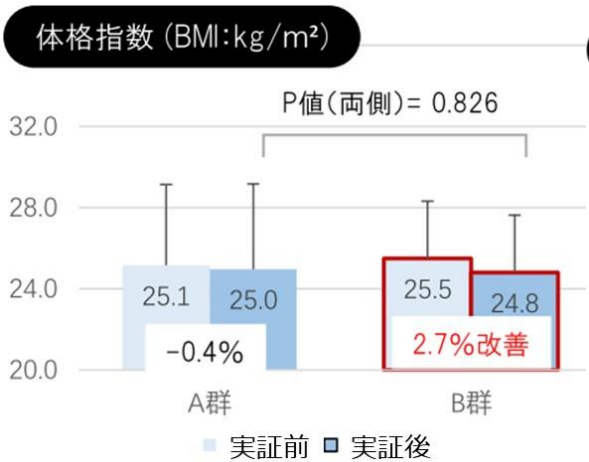


	実証前	実証後	P値(両側)
A	59.2±14.0	60.4±13.9	0.724
B	62.7±13.7	67.8±15.1	0.029 *

	実証前	実証後	P値(両側)
A	58.1±22.7	55.3±20.5	0.298
B	56.1±24.2	65.4±22.7	0.000 ***

食事内容・栄養バランス：B群において実証前後（ $P < 0.029$ ）及びAB群の実証前後（ $P = 0.013$ ）の改善効果が得られました。

運動・身体活動：B群において実証前後（ $P < 0.001$ 以下）及びAB群の実証前後（ $P = 0.025$ ）の改善効果が得られました。



	実証前	実証後	P値(両側)
A	25.1±4.0	25.0±4.2	0.228
B	25.5±2.8	24.8±2.8	0.000 ***

	実証前	実証後	P値(両側)
A	105.4±39.8	104.7±41.7	0.654
B	111.6±29.8	101.7±30.4	0.000 ***

BMI：B群において実証前後（ $P < 0.001$ 以下）の改善効果が得られました。

内臓脂肪量：B群において実証前後（ $P < 0.001$ 以下）の改善効果が得られました。

◆実証説明会の写真



◆天津医科大学の概要

大学名：天津医科大学 公共卫生学院 营养流行病学研究所

URL：<http://www.tmu.edu.cn/>

◆北大医療海洋石油医院の概要

病院名：北大医療海洋石油医院

URL：http://www.pkucare.com/content/details23_1086.html

以上